

ふりがな 氏 名	たかはし てつや 高橋 哲也	職 名	教授
取 得 学 位	博士 (農学)	学会での受賞歴	日本家禽学会奨励賞 (H7.10月) 日本生物教育学会賞論文賞 (H24.1月) 日本生物教育学会下泉教育実践奨励賞 (H29.1月) 日本生物教育会賞銀賞 (H30.8月)
主な担当科目	生命のしくみ, 生活, 保育内容演習(環境)I, 保育内容演習(環境)II, 幼児と環境, 幼児保育総合演習I, 幼児保育総合演習II, 理科B		
所 属 学 会	日本生物教育学会, 日本理科教育学会, 日本科学教育学会, 日本保育学会, 日本保育者養成教育学会, ヒトと動物の関係学会, 日本家禽学会, 日本鳥類内分泌研究会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
「生物」や「生理学」を視覚的に理解するための教材の開発と実践 (岐阜県立各務原高校、ぎふ国際高校、日本聴能言語福祉学院、岐阜保健短大、岐阜聖徳学園大学)。	平成 29 年 ～	講義において教卓上で演示を行なうためのモデルを多数、身近にある簡単な材料を使って作成し、授業において実践した。
脊髄「反射」を実践的に学ぶための実験方法の開発と実践 (岐阜県立各務原高校、ぎふ国際高校、日本聴能言語福祉学院、岐阜保健短大、岐阜聖徳学園大学)。	平成 29 年 ～	打腱器を使用せずに身近な古新聞を使って誰でも簡単に膝蓋腱反射を体験できる方法を開発し、授業において実践した。
中脳「反射」を実践的に学ぶための実験方法の開発と実践 (岐阜県立各務原高校、ぎふ国際高校、日本聴能言語福祉学院、岐阜保健短大、岐阜聖徳学園大学)。	平成 29 年 ～	医療現場で行なわれている反射のスクリーニングテストを利用して、医師ではない一般の教員にも行なうことのできる嚙下反射の体験実験方法を開発し、授業において実践した。
リサイクルペットボトルプランターの作成方法の開発と実践 (名古屋女子大学)。	平成 29 年 ～	「生物学」の授業において 1 人 1 鉢で植物の成長の観察をするためのリサイクルペットボトルプランターの作成方法を開発し、授業において実践した。
新しい生物教材の教育実践利用の検討 (名古屋女子大学)。	平成 29 年 ～	レインボーコーンやベニカナメモチなどの新しい材料を探索し、これらは教育に使用することができる教材となりうるかどうかを授業実践において検討した。
植物の“たね”に興味をもたせる教育実践方法の開発と実践 (名古屋女子大学)。	平成 29 年 ～	小学生に植物の“たね”に興味をもたせるための教育実践方法として、「生物学」の授業において、「お気に入り“たね”実物ベスト10」や「家ですくってきた土から何が生えるかな？」を考案し、授業において実践した。
「生物学」実験用プリント教材の作成と改良 (名古屋女子大学)。	平成 29 年 ～	「生物学」実験の授業のためのマニュアルと結果を毎回の授業で1枚のプリントとした教材を30回全ての授業用に作成し、使用に伴って毎年改良を行なった。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
幼児に生活の中で身近な図形に興味をもたせるための教育実践方法の考案と実践 (名古屋女子大学)。	平成 29 年 ～	幼児が普段の生活の中で身近な図形に興味を持つようになるため、企業ロゴや道路交通標識を使った好きなマークベスト 10 の教育方法を考案し、授業において実践した。
幼児に季節の移り変わりや図形に対する興味を同時にこなう教育実践方法の考案と実践 (名古屋女子大学)。	平成 29 年 ～	幼児が季節の移り変わりから図形に対する興味をもつまでを連携してこなうことができるミニ武者のぼり制作を提案し、授業において実践した。
動物ビンゴゲームの考案と実践 (名古屋女子大学)。	平成 29 年 ～	幼児や小学生にいろいろな動物に興味をもたせるため、およびそれらの教育者をめざす学生の技法を高めるために、動物声当てゲームや飼育動物クイズを使った「動物ビンゴゲーム」を考案し、授業において実践した。
動物の企業ロゴを使った、「図形に親しむ」ことと「動物に親しむ」ことを融合した環境領域の指導法の考案と実践 (名古屋女子大学)。	平成 30 年 ～	企業ロゴのうち動物のロゴだけを集めて、図形と動物とに同時に興味を持つ環境領域の指導法を考案し、授業において実践した。
環境領域における自然に親しむことを高めるための、テーマを選定した自然観察方法の考案と実践 (名古屋女子大学)。	平成 30 年 5 月～	自然観察を行なう際、テーマを設けた方が自然に対する関心が高まることを突き止め、「ど根性植物」をテーマにした自然観察を考案し、授業において実践した。
子ども向け TV アニメのアイテムを参考にした図形パズルの考案と実践 (名古屋女子大学)。	平成 30 年 10 月～	子ども向け TV アニメーション「プリキュア」の変身アイテム (ハートパクト) を参考にした、保育者養成課程学生および幼児のためのハート図形パズルを作成し、授業において実践した。
“石”に興味をもたせる教育実践方法の開発と実践 (名古屋女子大学)。	平成 30 年 10 月～	小学生に“石”に興味をもたせるための教育実践方法として、「生物学」の授業のために考案した「お気に入り“たね”実物ベスト 10」を改良して「お気に入り“石”実物ベスト 10」を考案し、授業において実践した。
小学校「理科」で使用できる呼吸の測定方法の考案と実践 (名古屋女子大学)。	平成 30 年 10 月～	小学生が「理科」の授業で楽しく呼吸数を測定できる測定方法を考案し、この指導方法を「生物学」の授業で実践した。
自己紹介を利用した小学校「生活科」の指導方法に興味を持たせるための授業の実践 (名古屋女子大学)。	令和元年 10 月～	将来 学生が小学校の「生活科」の授業を行なう際に、その導入として自己紹介が授業に興味を持たせるツールとなることを理解できる授業展開を実践した。
星に興味を持たせるための教材と授業展開の考案と実践 (名古屋女子大学)。	令和 2 年 1 月～	星に興味を持たせるための教材として太陽系の惑星を実際の比較率で紙で作成し、これを使用した授業展開を実践した。
「20 の扉」を利用した小学校「生活科」の指導方法に興味を持たせるための授業の実践 (名古屋女子大学)。	令和 2 年 1 月～	「20 の扉」のゲームを授業に取り入れ、これを小学校「生活科」の授業でどのように効果的に使うかを指導した。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	1. 教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.2	共	平成29年7月	三恵社 名古屋女子大学文学部 児童教育学科編(164頁)	高橋哲也ほか27名 第2章『「小学校・教科の指導法」第5節『ゲーム感覚で学べる環境領域のための指導法について』 pp. 91-96
	2. 教育・保育職シリーズ4 教育・保育の学びプラス・ワン	共	平成29年12月	三恵社 名古屋女子大学文学部 児童教育学科編(164頁)	高橋哲也ほか26名 第3部『領域及び保育内容の指導法』第2章『ICT機器の「幼児の環境」における利用について』 pp. 91-96
	3. 教職・保育職シリーズ5 教育・保育の新視点	共	平成30年3月	三恵社 名古屋女子大学文学部 児童教育学科編(313頁)	高橋哲也ほか30名 第3部『領域および保育内容の指導』第14章『子どもの生活とそれを取り巻く大衆文化—子ども向けTV番組の5領域との関わりをどう読み解くか—』 pp. 291-300
	4. 教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3	共	平成30年7月	三恵社 名古屋女子大学文学部 児童教育学科編(205頁)	高橋哲也ほか23名 第2章『小学校・中学校における教科の指導法』第8節『いろいろなタネの観察—小学校生活科と理科および幼児環境領域の教材として—』 pp. 145-154
	5. 保育者・教育者をめざす学生のための自習ガイドブック	共	平成31年4月5日	三恵社 名古屋女子大学文学部 児童教育学科編(215頁)	高橋哲也ほか10名 第4章『理科』第2節 第2分野(実践) pp. 161-174
	6. 食と健康シリーズ①「かむ」ってなあ〜んだ?	共	平成31年3月	名古屋女子大学総合科学研究所(35頁)	駒田格知・高橋哲也ほか6名 10. 『いろいろな動物の食べ方・かみ方』 pp. 28-31
	7. シリーズ教育・保育の論点教授法と子ども理解	共	令和元年7月5日	三恵社 名古屋女子大学文学部 児童教育学科編(142頁)	高橋哲也ほか18名 第3部『領域および保育内容の指導法』第1章『テーマを設定した自然観察』 pp. 113-120

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演会の名称(会場名)	備考
著書	8. 保育者・教育者をめざす学生のための自習ガイドブック 第2版	共	令和2年 5月7日	三恵社 名古屋女子大学文学部 児童教育学科編 (168 頁)	高橋哲也ほか11名 第4章『理科』第2節 第2 分野 pp. 117-121
	9. シリーズ教育・保育の論点 理論と実践	共	令和2年 8月5日	三恵社 名古屋女子大学文学部 児童教育学科編 (122 頁)	高橋哲也ほか15名 第1部『教育・保育の基礎理 解』第3章『オンライン会議 サービス「Zoom」による遠 隔授業は一般的な対面授業で 用いられる授業形態をどの程 度実行できるか』 pp. 16-23
	10. シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び	単	令和3年 7月	三恵社 名古屋女子大学文学部 児童教育学科編 (139 頁)	高橋哲也ほか17名 第2部『小学校・中学校にお ける教科の指導法』第5章『小 学校における解剖観察につい て』 pp. 94-98
論文	1. 保育内容(環境)の授業におけ る文章表現量の幼児保育専攻 学生と児童教育学専攻学生との 差異	共	平成29年 10月	児童教育論集1号(名古 屋女子大学文学部児童 教育学科)	高橋哲也・小椋郁夫 p. 2111-215
	2. 数値とその分析: 卒業後に職 場での児童教育や幼児教育およ び保育の成果を公表するために 必要なこと	単	平成30年 2月	教育・保育モノグラフ No.2 学びの循環(名古 屋女子大学文学部児童 教育学科)	p. 254-263
	3. 学校内の自然観察における 「大発見を探そう」のテーマ設定 が保育内容(環境)の履修学生の 自然に対する関心度に及ぼす効 果について	共	平成30年 3月	名古屋女子大学紀要 64 号 家政・自然編	高橋哲也・小椋郁夫 p. 1-8
	4. 保育内容(環境)の指導に利用 することを目的としたロゴマー クと道路交通標識についての保 育者養成課程学生の知識の把握	共	平成30年 3月	名古屋女子大学紀要 64 号 人文・社会編	高橋哲也・小椋郁夫 p. 477-480
	5. 岐阜県内高校出身者が動物の 器官を見たことのある経験の器 官間の比較	共	平成30年 3月	生物教育 岐阜県高等学 校教育研究会生物教育 研究部会会誌 62 巻	高橋哲也・池田雅志・廣渡洋史 p. 3-6
	6. 通信制・単位制高校における 生物のレポート提出率を高める ための課題方法の検討	単	平成30年 7月	生物研究 57号	p. 2-11

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演会の名称(会場名)	備考
論文	7. 子ども向けTVアニメーション「プリキュア」の視聴が保育者養成課程学生の考えに及ぼす効果	単	平成30年9月	東海北陸教師教育研究 32号	p. 17-32
	8. 「生命のしくみ」の授業における質問者数について	単	平成30年12月	児童教育論集2号(名古屋女子大学文学部児童教育学科)	p. 34-37
	9. 長良川自然観察研修会への参加が小学校および幼稚園教員養成課程の学生の自然観察に対する意識と知識に及ぼす効果	共	平成31年3月	名古屋女子大学紀要 65号 家政・自然編	高橋哲也・小椋郁夫 p. 85-91
	10. 保育者養成課程の学生が領域「環境」に関する演習授業で季節と関連した行事の模擬保育のために選択したテーマについて	共	平成31年3月	名古屋女子大学紀要 65号 人文・社会編	高橋哲也・小椋郁夫 p. 391-394
	11. 全日制普通科高校で実施した生物の実験回数に対する生徒の感覚の文系と理系との比較	単	平成31年3月	生物教育 岐阜県高等学校教育研究会生物教育研究部会会誌 62巻	p. 3-5
	12. 保育者養成課程の4年生による子ども向けTV番組「プリキュア」「仮面ライダー」「スーパー戦隊」および「ウルトラマン」の保育者養成教材としての価値評価	単	令和元年10月	東海北陸教師教育研究 33号	p. 27-32
	13. 児童教育学科の学生における前期授業の出席率の変動について -共通科目の「生命のしくみ」を例として-	単	令和元年12月	児童教育論集3号(名古屋女子大学文学部児童教育学科)	p. 18-21
	14. 長良川自然観察研修会への参加が現職小学校教員の自然観察に対する意識と知識に及ぼす効果 -「パターン把握」と「環境リテラシー」の理解を中心として-	共	令和2年3月	名古屋女子大学紀要 66号 家政・自然編	小椋郁夫・高橋哲也 p. 1-12
	15. 保育者養成課程学生の幼児保育における楽器利用についての考えとカホンに対する認知度	共	令和2年3月	名古屋女子大学紀要 66号 人文・社会編	高橋哲也・加藤萌衣 p. 321-327
	16. 生物の実験に対する生徒の興味と意欲の自己評価について	単	令和2年3月	生物教育 岐阜県高等学校教育研究会生物教育研究部会会誌 63巻	p. 3-5

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	17. 小学校教員養成課程の学生が顕微鏡の使用法の授業において興味を引く生物教材について	共	令和3年 1月	児童教育論集4号(名古屋女子大学文学部児童教育学科)	高橋哲也・小椋郁夫 p. 40-45
	18. オンライン遠隔授業に対する大学生の理解とストレスの感覚度について	共	令和3年 3月	名古屋女子大学紀要 67号 人文・社会編	高橋哲也・大曾基宣・真崎憲二・片岡玲実奈 p. 247-255
	19. 幼児の興味を引くどろだんごのコーティングの検討	共	令和3年 3月	名古屋女子大学紀要 67号 人文・社会編	高橋哲也・安藤沙恵・井上優花 p. 257-262
	20. 高校生におけるオンライン遠隔授業の受講の実態と問題点および生物における利用状況について	共	令和3年 3月	生物教育 岐阜県高等学校教育研究会生物教育研究部会会誌 65巻	高橋哲也・大曾基宣・真崎憲二 p. 3-9
	21. 食と健康の意識向上のための遠隔啓発効果 ～小学生向け食育媒体の開発とその啓発効果～	共	令和3年 5月	総合科学研究 15号	近藤浩代・小椋郁夫・高橋哲也・大曾基宣・伊藤美穂子・澤田樹美・駒田格知 p. 1-13
	22. 保育者および教員養成課程の学生による子ども向けテレビアニメーションのキャラクターを知るための情報物としての画像とフィギュアの比較実践#	共	令和3年 10月	東海北陸教師教育研究 34号	高橋哲也・佐々木基裕 p. 3-10
	23. 新型コロナウイルス感染症に対して保育所や幼稚園あるいは小学校に通う子をもつ保護者が子どものために必要と考える感染対策について	共	令和3年 12月14日	児童教育論集5号(名古屋女子大学文学部児童教育学科)	高橋哲也・大曾基宣・國京恵子 p. 26-30
	24. 咀嚼に着目した小学生向け食育教材の評価	共	令和4年 3月	名古屋女子大学紀要 68号 家政・自然編	大曾基宣・近藤浩代・近藤志保・小椋郁夫・高橋哲也・駒田格知 p. 1-10
	25. 子ども向けテレビアニメーション「プリキュア」で取り扱われている行事について	共	令和4年 3月	名古屋女子大学紀要 68号 人文・社会編	高橋哲也・小瀬木奏絵・佐々木基裕 p. 211-229
	26. 高校生から見た生物の教材としてのテレビアニメーション『はたらく細胞!!』	共	令和4年 3月	生物教育 岐阜県高等学校教育研究会生物教育研究部会会誌 66巻	高橋哲也・大曾基宣 p. 4-7

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
学会発表	1. 通信制・単位制高校におけるレポート提出率を高めるための課題の工夫とその教育効果	単	平成29年8月4日	日本生物教育会 (JABE) 第72回全国大会 (栃木大会) (帝京大学宇都宮キャンパス)	発表要旨集 p. 42
	2. 中耳腔内圧を調整するための耳管機能の演示モデルの紹介	共	平成29年12月2日	日本理科教育学会第63回東海支部大会 (三重大学)	村田公一・柳原由起・廣渡洋史・池田雅志・高橋哲也 研究発表予稿集 p. 44
	3. 小学校教員養成課程の学生によるレインボーユーンの教材利用の発想	共	平成29年12月2日	日本理科教育学会第63回東海支部大会 (三重大学)	高橋哲也・小椋郁夫・今度ゆりこ・村田公一 研究発表予稿集 p. 59
	4. たねに興味をもたせるための実物のたねを使った「好きなたねベストテン」	共	平成30年1月7日	日本生物教育学会第102回全国大会 (熊本大会) (熊本大学)	高橋哲也・小椋郁夫・今度ゆりこ・岩澤 淳・村田公一 研究発表要旨集 p. 74
	5. 耳の機能への興味をひくために中高生に紹介してほしい耳管の話とその手作りモデル	共	平成30年1月7日	日本生物教育学会第102回全国大会 (熊本大会) (熊本大学)	村田公一・柳原由起・廣渡洋史・池田雅志・高橋哲也 研究発表要旨集 p. 75
	6. ヒトの聴覚器における音の増幅機構に関する大学入試センター試験問題の実験装置の検証	共	平成30年8月5日	日本生物教育会 (JABE) 第73回全国大会 (山口大会) (山口県健康づくりセンター)	高橋哲也・村田公一 発表要旨集 p. 30
	7. 小学校理科の雲の授業の導入に使用したい漫画 ONE PIECE の天候棒「クリマタクト」の製作	共	平成30年8月18日	日本科学教育学会第42回年会 (信州大学)	高橋哲也・波佐間仁美・小椋郁夫・村田公一 論文要旨集 42 p. 31 日論文集 42 p. 305-306
	8. 漫画 ONE PIECE の天候棒「クリマタクト」の演示教材化	共	平成30年12月8日	日本理科教育学会第64回東海支部大会 (愛知教育大学)	高橋哲也・波佐間仁美・小椋郁夫・村田公一 研究発表予稿集 p. 44
	9. 音の高さ知覚の仕組み	共	平成30年12月8日	日本理科教育学会第64回東海支部大会 (愛知教育大学)	村田公一・廣渡洋史・柳原由起・高橋哲也 研究発表予稿集 p. 47
	10. ヒトの聴覚系における音の増幅についての2つのシステムと小中高校教科書における記載について	共	平成31年1月12日	日本生物教育学会第103回全国大会 (愛知大会) (愛知教育大学)	村田公一・柳原由起・廣渡洋史・大塚 想・高橋哲也 研究発表要旨集 p. 57
	11. ヒトの呼吸を簡単に観察するための器具の作成	共	平成31年1月12日	日本生物教育学会第103回全国大会 (愛知大会) (愛知教育大学)	高橋哲也・小椋郁夫・岩澤 淳・村田公一 研究発表要旨集 p. 58

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	12. ヒトの呼吸数の簡易的な測定 方法の検討	単	令和元年 8 月 7 日	日本生物教育会 (JABE) 第 74 回全国大会 (岡山 大会) (IPU・環太平洋大 学)	大会要項 p. 51
	13. 弾けた瞬間に色のついた ポップコーンは作れるか?	共	令和元年 9 月 23 日	日本理科教育学会第 59 回全国大会 (静岡大学)	高橋哲也・中村咲里亜・小椋郁 夫 全国大会発表論文集 p. 471